

大学院案内

奈良県立医科大学 大学院看護学研究科 2024



奈良県立医科大学
Nara Medical University



理念

奈良県立医科大学は、「豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指す」という教育理念のもとに、教育・研究を展開し地域社会に貢献してきた。医学部看護学科は、その理念を受けて、その人らしい生き方を支える看護のあり方を追求し、地域社会との連携のもとに、人間と健康に関わる問題を多面的な視野から解決できる看護実践の中核的な役割を果たす人材を育成することを目的としている。

本研究科修士課程では、この理念を基盤に、豊かな感性・人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化・専門分化および多様化していく医療に要求される知識や技術を的確に習得・発展させながら、実践科学としての看護学を探究する高度な実践能力と基礎的な研究能力を有する看護職者の育成をめざす。

教育目的

- (1) 優秀かつ柔軟な資質を併せもち、研究・教育・臨床のいずれの領域においても指導者となり得る人材の育成を図る。
- (2) 生命の尊厳の深い理解を基盤とし、専門性の高い看護実践能力と教育研究能力を備えた、看護学実践の専門職者、管理者、教育者を育成する。
- (3) 人間性豊かな高い倫理観を有し、生涯にわたって自ら学び、自立して研究ができる医療人の育成に努める。
- (4) 看護学における基礎的な研究能力を養うとともに、地域の特性を踏まえて、看護学と生命科学・社会科学の調和を図る。

アドミッションポリシー

Admission Policy

本研究科修士課程では、高度な実践能力と基礎的な研究能力を有する看護職者を養成するため、次のような資質を持った人を求めています。

- 1 人間に対する深い関心と生命倫理や医療倫理を身につけている人
- 2 専攻分野における基礎知識を身につけている人
- 3 自ら進んで課題に取り組む意欲と探究心がある人
- 4 看護学の教育、研究、実践の分野で地域社会に貢献する意志があり、看護学関連分野を学習してきた人

カリキュラムポリシー

Curriculum Policy

- 1 教育理念・目的に基づき、豊かな感性、人間性と高度専門職業人としての倫理観を備え、高度化、専門分化および多様化していく医療に要求される知識や技術を的確に習得・発展させながら、実践科学としての看護学を探究する高度な実践能力と基礎的な研究能力を育成するために必要なカリキュラムを配置する。
- 2 看護学コースと助産学実践コースを置き、すべての学生が幅広く専門知識を修得するために共通科目を配置する。看護学コースでは各専門分野に必要な能力を養成するために、特論、演習、特別研究の授業科目を配置する。さらに助産学実践コースでは助産師となるために必要な特論、演習、実習科目を配置する。

ディプロマポリシー

Diploma Policy

本大学院に2年以上（優れた研究業績を上げた者については1年以上）在学し、授業科目について、看護学コースのうち、論文コースにあっては30単位以上修得し、かつ修士論文の審査及び最終試験に合格することが、高度実践コースの高度実践看護師教育課程（専門看護師教育課程）にあっては40単位以上、同コースの周麻酔期看護師教育課程にあっては46単位以上修得し、かつ、特定の課題についての研究成果（以下、「課題研究成果物」という。）の審査及び最終試験に合格することが、助産学実践コースにあっては、61単位以上修得し、かつ、課題研究成果物の審査及び最終試験に合格することが、課程の修了と学位授与の必要条件である。修了時には以下の能力が求められる。

- 1 看護学に関する確かな専門知識と深い学識を修得している。
- 2 生命科学、社会科学、情報科学などの知識を活用して研究能力が発揮できる。
- 3 看護専門職者（論文コース修了者）として、地域医療での指導能力を発揮できる。
- 4 看護専門職者（高度実践コース修了者）として、高度な実践能力と指導能力を発揮できる。
- 5 看護専門職者（助産学実践コース修了者）として、地域における周産期医療での指導能力と高度な実践能力を発揮できる。

大学院看護学研究科修士課程

看護学コース

論文コース

看護学コースは、看護実践応用学、がん看護学、高齢者看護学、小児看護学、精神看護学、公衆衛生看護学、在宅看護学、基礎看護学、女性健康・周産期看護学、健康科学の10の専門領域を設けており、人々の多様な健康ニーズに応えるための看護学を学ぶことができます。カリキュラムは、ヒューマン・ケアを基盤とし高度な看護実践能力と保健福祉医療のリーダーとして社会に貢献できる研究能力・指導能力を培う科目を配置しています。現在のキャリア向上に役立つべく、働きながら学ぶことが可能です。

高度実践コース

高度実践看護師教育課程（クリティカルケア看護分野）

保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとキアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育及び研究を行い、ケアシステム全体を捉える思考力と看護実践力を向上させる高度実践看護師を養成する課程です。
◆取得できる資格：日本看護協会 高度実践看護師教育課程（専門看護師）認定審査受験資格

高度実践看護師教育課程（がん看護分野）

がんの病態・診断・治療に関する最新の知見、がん看護の基盤となる概念・理論、がん医療の現状と課題を学び、がんサバイバーとその家族が抱える臨床上の課題について探求します。また臨床実習を通して、複雑な健康問題を抱えるがん患者および家族に対するケアとキアを統合した卓越した直接ケア、相談、倫理的調整などの役割を実践し、高度実践看護師としてケアシステム全体を捉える思考力を培うよう支援します。
◆取得できる資格：日本看護協会 高度実践看護師教育課程（専門看護師）認定審査受験資格

周麻酔期看護師教育課程

麻酔科の医学的知識を集中的に学び、看護師として麻酔科医と協働して患者の麻酔管理を行う周麻酔期看護師を養成する課程です。修了時は本学大学院看護学研究科周麻酔期看護師として認定されます（本学認定）。

助産学実践コース

助産学実践コースでは、高度実践能力と研究力を身につけた助産師の育成を目指しています。本学附属病院のNICU/GCUやMFICUを含む総合周産期母子医療センター、多くの熟練助産師の活躍する助産所など、充実した実習環境を備えています。
看護学コースで修める修士号取得のための授業に加え、助産師国家試験受験資格のための授業を受けることができます。
◆取得できる資格：助産師国家試験受験資格、受胎調節実地指導員、新生児蘇生法「専門」Aコース修了認定証

高度実践コースの高度実践看護師教育課程及び助産学実践コースについては、修業中は学業に専念できる者とします。

時間割（参考：令和5年度）

Timetable

		1(9:00~10:30)	2(10:40~12:10)	3(13:00~14:30)	4(14:40~16:10)	5(16:20~17:50)	6(18:00~19:30)	7(19:40~21:10)
MON	1年	周産期看護学特論	女性健康学特論	助産学特論Ⅰ	助産学特論Ⅳ	助産学特論Ⅳ	小児看護学特論 高齢者看護学特論 在宅看護学特論 助産学実習Ⅰ がん看護学特論	小児看護学演習 高齢者看護学演習 在宅看護学演習 がん看護学演習Ⅲ
	2年	周麻酔期看護学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅱ	周麻酔期看護学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅱ	周麻酔期看護学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅱ	助産学実習Ⅴ がん看護学実習Ⅱ	がん看護学実習Ⅱ		
TUE	1年	助産学特論Ⅴ	助産学特論Ⅴ	助産診断・技術学演習Ⅰ	助産診断・技術学演習Ⅰ 周麻酔期看護学特論Ⅰ	周麻酔期看護学特論Ⅱ	○看護理論	○看護研究方法論
	2年	周麻酔期看護学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅲ	周麻酔期看護学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅲ	周麻酔期看護学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅲ	助産学実習Ⅴ がん看護学実習Ⅲ	がん看護学実習Ⅲ	特別研究 課題研究	特別研究
WED	1年	助産学特論Ⅱ 助産診断・技術学演習Ⅳ	助産学特論Ⅱ 助産学特論Ⅵ 助産診断・技術学演習Ⅳ	周産期看護学演習 ●看護倫理学	女性健康学演習	●アドバンストフィジカル アセスメント	心と脳の発達学特論 睡眠学特論 ●病態生理学	心と脳の発達学演習
	2年	周麻酔期看護学実習Ⅲ がん看護学実習Ⅳ	周麻酔期看護学実習Ⅲ がん看護学実習Ⅳ	周麻酔期看護学実習Ⅲ がん看護学実習Ⅳ	がん看護学実習Ⅳ	がん看護学実習Ⅳ		
THU	1年	助産学特論Ⅱ 助産診断・技術学演習Ⅳ	助産学特論Ⅱ 助産診断・技術学演習Ⅳ	助産診断・技術学演習Ⅲ がん看護学演習Ⅰ	助産診断・技術学演習Ⅳ がん看護学演習Ⅰ	助産診断・技術学演習Ⅳ	医の共通科目 / 衛生社会医学 睡眠学演習 看護実践応用学特論 公衆衛生看護学特論 基礎看護学特論	看護実践応用学演習 公衆衛生看護学演習 基礎看護学演習
	2年	周麻酔期看護学実習Ⅲ がん看護学実習Ⅴ	周麻酔期看護学実習Ⅲ がん看護学実習Ⅴ	周麻酔期看護学実習Ⅲ がん看護学実習Ⅴ	がん看護学実習Ⅴ	がん看護学実習Ⅴ		
FRI	1年	助産診断・技術学演習Ⅱ	助産学特論Ⅲ	助産診断・技術学演習Ⅱ	助産診断・技術学演習Ⅱ 周麻酔期看護学演習Ⅰ	助産学特論Ⅱ	助産学実習Ⅰ	英文講読
	2年				助産学実習Ⅴ			
		1(9:00~10:30)	2(10:40~12:10)	3(13:00~14:30)	4(14:40~16:10)	5(16:20~17:50)	6(18:00~19:30)	7(19:40~21:10)
MON	1年	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅲ	助産学実習Ⅲ	小児看護学演習 高齢者看護学演習 がん看護学演習Ⅲ	地域医療学
	2年							
TUE	1年	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅱ	周麻酔期看護学演習Ⅱ	周麻酔期看護学特論Ⅲ 在宅看護学演習	
	2年						特別研究 課題研究	特別研究
WED	1年	周麻酔期看護学実習Ⅰ 周産期看護学演習	周麻酔期看護学実習Ⅰ 女性健康学演習 がん看護学援助特論Ⅰ	周麻酔期看護学実習Ⅰ がん看護学援助特論Ⅱ	周麻酔期看護学実習Ⅰ がん看護学援助特論Ⅲ	●臨床薬理学	精神保健学 周麻酔期看護学特論Ⅳ	心と脳の発達学演習
	2年							
THU	1年	助産学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅰ	助産学実習Ⅱ がん看護学実習Ⅰ	助産学実習Ⅱ がん看護学演習Ⅱ がん看護学実習Ⅰ	助産学実習Ⅱ がん看護学演習Ⅱ がん看護学実習Ⅰ	助産学実習Ⅲ がん看護学実習Ⅰ	睡眠学演習 看護実践応用学演習 公衆衛生看護学演習 基礎看護学演習	がん看護学演習Ⅲ
	2年							
FRI	1年	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅱ	助産学実習Ⅳ	看護情報学	
	2年							

○ 看護学専攻で必修の共通科目 ● 高度実践コースのみ必修の共通科目 ※表中の1コマは30時間分の授業を示す。

※「看護管理論」は前期の集中講義として開講。「家族看護学」は後期の集中講義として開講。授業は担当教員と履修者が相談のうえ、上表の記載時間以外に開講される場合がある。
「医の共通科目」「衛生社会医学」の2科目は医学研究科（修士課程）との合同授業。「がん看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は附属病院等で臨床実習を各3～4週間かけて行う。

専門領域の指導教員

看護学コース

● 健康科学 Health Science

教授 太田 豊作 心と脳の発達学専攻 Human Mind and Brain Development

人の心の発達を脳科学的な視点と精神心理学的な視点の両方から研究し、その両者の統合を図ります。特に児童思春期の神経発達症や精神疾患を中心に生物学的研究と心理社会的研究を行っています。

研究テーマ

- 「注意欠如・多動症(ADHD)に関する事象関連電位の研究」
- 「注意欠如・多動症(ADHD)に関する光トポグラフィー(NIRS)の研究」
- 「自閉スペクトラム症に関する臨床的研究」
- 「神経発達症・精神疾患の家族支援」
- 「児童思春期精神疾患の発症予防に関する研究」

教授 山内 基雄 睡眠学専攻 Sleep Medicine

睡眠に関連した疾患は非常に多岐です。睡眠呼吸障害、不眠症、過眠症などが含まれますが、どれをとっても診療には医師、看護師、臨床検査技師、臨床心理士など多職種連携が必要であり、多職種連携を活用した個別化治療を構築する研究を行っています。とりわけ睡眠時無呼吸症候群のCPAP治療のアドヒアランス改善は喫緊の課題です。また不適切な睡眠環境は治療に影響するため睡眠衛生指導にも取り組んでいます。

研究テーマ

- 「睡眠時無呼吸症候群の疾患多様性と個別化治療の構築」
- 「CPAPアドヒアランスの現状と改善策」
- 「慢性期呼吸管理としての夜間NPPVの活用」

● 基礎看護学 Fundamentals of Nursing

教授 松田 明子

基礎看護学では、あらゆるライフステージ・健康レベルにある人達を看護の対象とします。その中でも特に、在宅・外来・病棟のあらゆる場の療養者への看護援助に対して安全管理等の視点で分析します。療養者に対して安全で効果的な看護援助について科学的に検証する視点を探求していきます。また、看護学教育の概観を理解し、看護実践能力の向上を目的とした看護教育について検討していきます。

研究テーマ

- 「薬物療法を受ける患者・家族への支援に関する研究」
- 「在宅における患者の療養支援に関する研究」

● 看護実践応用学 Applied Practical Nursing Science

教授 石澤 美保子

臨床スキンケア関連、褥瘡および慢性創傷の予防と管理、ストーマや瘻孔、排泄管理の3分野(Wound:創傷、Ostomy:ストーマ、Continence:失禁)を研究しています。この3分野は、年齢や疾患に関わらず、すべての人に対して実践されるケア領域でもあります。研究内容は、看護を科学的にとらえ、いかにその根拠を立証していくかの視点で行っています。

研究テーマ

- 「仙骨部褥瘡における創改善と周囲皮膚の水分バリア機能変化との関連」
- 「ストーマ局所条件と装具の耐久性の関連」
- 「医療関連機器圧迫創傷の予防と管理」 ほか

● がん看護学 Cancer Nursing

教授 田中 登美

がんサバイバーとその家族の抱える問題を見極め、解決のための看護実践や保健医療のあり方、チーム医療での看護職の役割、看護師教育について科学的に探究しています。特にCNSのサブスペシャリティである「化学療法看護」について、就労がん患者を対象にした役割遂行上の困難への対処を促す看護介入プログラムを検討しています。また、糖尿病を併せ持つがん患者への支援、がん治療中の患者のせん妄体験およびせん妄予防看護介入、臨床看護師への教育を研究しています。

研究テーマ

- 「薬物療法を受ける就労がん患者」 「がん患者のせん妄への予防・ケア」
- 「糖尿病を併せ持つがん患者へのケア」

● 高齢者看護学 Gerontological Nursing

教授 澤見 一枝

加齢に伴う機能変化の進行速度は個人差が大きいため、心身および社会的機能面への影響も個人で大きな開きがあります。多様な高齢者の生活の質を維持するため、新しい知見が求められています。また、認知症は世界的に増加しており、WHOから認知症予防ガイドライン2019が出されていますが、予防的介入のエビデンスレベルは不十分とされています。そこで、認知症予防や認知症のケアにおける取組の効果を検証しています。

研究テーマ

- 「高齢者の介護予防、認知症予防、認知症高齢者のケア」

● 小児看護学 Child Health Nursing

教授 川上 あずさ

小児看護の対象は、小児(子ども)と家族です。子どもと家族は発達を続けている存在ですが、障がいや病気によって、発達や生活は大きく影響を受けます。発達と健康、生活、環境を関連させて検討することで、看護の視点で子どもと家族の支援を探求していくことが可能になると考えます。障がいや病気のある子ども、そのきょうだいや家族は、力(能力)をもち、さまざまな方法で家族成員を「まもり」ながら生活しています。しかし、このことが負荷となる状況やバランスが崩れることが生じます。これらに着眼した支援方法の研究を進めています。

研究テーマ

- 「発達障害のある子どものきょうだいの育ち」
- 「病気や障がいのある子どもと家族の支援に関する研究」

● 精神看護学 Psychiatric and Mental Health Nursing

准教授 奥田 淳

精神看護学は、こころの健康問題を持つ人がその人らしさを取り戻し、その人が希望する生活を送ることを支援する学問です。こころの健康問題を持つ人への地域支援における課題を明らかにし、看護師が実践する支援のあり方について研究しています。また、医療観察法の対象となる人への支援についても研究しています。

研究テーマ

- 「精神に障害がある人への地域支援に関連した研究」
- 「医療観察法の対象となる人への支援に関連した研究」

先輩からのメッセージ

From Graduates

看護学コース

R2.3 修了 笹井 佐和子

同級生の専攻はそれぞれ異なりましたが、お互いの臨床経験を共有しながら研究テーマについて話し合える仲間でした。看護学科の先生方はもちろん、医学部の先生方、研究センターの先生方にもサポートいただき研究に取り組みました。奈良医大は充実した2年間を送ることができる環境であると思います。

看護学コース

R4.3 修了 上田 皐月

本学では、知識・演習・実践を丁寧に積み上げることで、臨床に繋がる力を着実に身に付けることができます。先生方の指導も温かく、研究にも安心して取り組むことができました。大学院での学習を通して、助産師の魅力を再発見できると思います。皆さんも本学で充実した学生生活を送ってください。

● 公衆衛生看護学 Public Health Nursing

教授 城島 哲子

保健師活動に関しては地域母子保健をテーマに「母性意識と子どもの発達との関連性」「母性意識とその影響因子に関する研究」、また臨床看護と地域看護のコラボレーション研究として「未熟児とその家族に対するケア」「NICUにおける母親グループの実践」「ハイリスク児ケアの地域ネットワークづくりの研究」などに取り組んできました。臨床看護師を対象とした家族看護研修参加者との事例検討を通して「家族看護研修による看護師の視点の変化」を明らかにしました。東日本大震災をボランティアとして支援した経験から「震災時の保健師活動の特性」に関する研究にチームで取り組んでいます。

研究テーマ

「公衆衛生看護活動、地域母子保健に関する研究」

准教授 坂東 春美

公衆衛生看護学は、健康な人も病気を抱える人も全ての人々を対象とし、身体的・精神的・社会的健康を衛る実践と学問分野です。私の研究は、公衆衛生上の諸課題に対し健康な状態を困難にしているリスクファクターを見つけ出し改善することを重視した研究のみならず、困難な状況下でありながらもうまく対処をしている例外的な成功者の解決手法に着目するPositive Deviance Approachを採用し、人々の健康と生活の維持・向上のための研究をすすめています。

研究テーマ

「公衆衛生看護活動に関する研究」

「母子保健に関する研究」

「Positive Deviance Approachに関する研究」

● 在宅看護学 Home Care Nursing

教授 小竹 久実子

在宅看護は、療養者と療養者を支える周囲の人々が看護の対象であり、その人の過去、現在、未来を人生ストーリーで捉えることから始まります。看護は、知識・技術・忠恕(誠実で相手を思いやる心)の心をもって関わる中で生まれてくるヒューマンケアリングです。それには、生活の視点をもつことが重要です。在宅看護学分野では、看護力を高めるために、あらゆる面から科学的に探究しています。2020年度から在宅看護のリーダーを育てるための在宅看護学特別教育プログラム奨学金制度がスタートしました。訪問看護や病院およびへき地医療ケアを体験できるプログラムです。興味のある方は是非いらしてください。

研究テーマ

量的研究：「喉頭摘出者の術前から退院1年後までの心理的適応とQOLとソーシャルサポートに関するRandomized Controlled Trial研究」分析
⇒多変量解析：共分散構造分析等

質的研究：「在宅療養移行期にある喉頭摘出者の生活のプロセス」分析
⇒M-GTA

● 周麻酔期看護学 Perianesthesia Nursing

教授 川口 昌彦

周術期、集中治療、疼痛管理などの周麻酔期管理では多職種チーム医療が推進されています。周麻酔期看護師はチーム医療の牽引役として、医療の質、医療安全、アウトカムの向上を目的とした活動を行います。疼痛緩和、合併症予防、患者満足度の向上、早期回復、生活機能の維持などを指標とした研究を行っています。周術期管理におけるコホート研究も実施しています。

研究テーマ

「周麻酔期管理における医療の質・医療安全・アウトカムに関する研究」

看護学コース・助産学実践コース

● 女性健康・助産学 Women's Health & Midwifery

教授 五十嵐 穂子 女性健康学専攻・産科看護学専攻
Women's Health Nursing / Perinatal Nursing

女性が持っている「産む力」を最大限に発揮できる環境を追求し、女性が望む出産スタイルとその意思決定のプロセスを明らかにすることに取り組んでいます。また、妊婦のセルフケア行動を促すケアに関する研究、妊娠中に心身ともに安定して過ごすためのストレス緩和に関する研究も行っています。

研究テーマ

「出産環境の研究」「女性の望む出産スタイルとその意思決定」

「妊娠期のストレス緩和」「出産時の入院のタイミングと医療介入」

施設紹介

Facilities



大学院生研究室

大学院生研究室では、一人一台パソコンがあり、それぞれが授業に向けての資料作成や論文執筆のための文献検索を行うことができます。また、同期の仲間とのコミュニケーションの場でもあります。



附属図書館

図書15万冊、雑誌5千誌を所蔵し、看護系電子ジャーナルは700誌以上、CINAHL、医中誌などのデータベースも利用できます。館内は無線LAN完備、休日も含め一年の大半を利用できます。



附属病院NICU・GCU

助産学実践コースの実習先の1つです。ハイリスク妊産婦や新生児への最先端の治療を知り、助産師としてのケアを学びます。また、総合産科母子医療センターも併設されています。

看護学コース

- 入学式・健康診断
- 履修科目決定

● 前期授業終了

授業と仕事の両立に奮闘

授業の数が多く、仕事や休日は課題に追われることが多くなります。大変ですが、専攻が様々な同期と学ぶ中、新しい発見ができ看護の視野が広がります。

● 後期授業開始

- 修士論文・課題研究成果物研究テーマ(仮)提出

研究テーマの決定

1回生の後期は授業とともに、研究計画書の作成を中心に行います。前期のみの授業も多く、授業の数は少し減ります。

- 修士論文・課題研究成果物研究計画書提出・研究活動開始(～9月)
- 冬季休業

- 医の倫理審査委員会
- 後期授業終了

● 修士論文・課題研究成果物研究協力施設への説明

● 春季休業



助産学実践コース



- 入学式・健康診断
- 履修科目決定
- 実習(助産学実習Ⅰ)

● 臨地実習研修

● 前期授業終了

実習(助産学実習Ⅱ～Ⅳ)

1年次の9月～12月までの病院実習です。この実習期間中に、11例のお産を直接介助者として受け持たせていただきます。

● 後期授業開始

● 研究担当教員決定・課題研究成果物計画書作成

● 実習(助産学実習Ⅱ～Ⅳ)

※12月まで(病院)

● 課題研究成果物研究テーマ(仮)提出

- 課題研究成果物研究計画書提出
- 冬季休業

研究活動

1年次の12月頃に研究計画書を完成させ、2年次から本格的に研究活動が開始します。実習と並行しての活動なので時間配分が重要な鍵です。

- 春季休業
- 研究活動開始

- 医の倫理審査委員会
- 後期授業終了

在学生の声



看護学コース
小児看護学
2年
大宮 恵美さん

「看護について改めて考え、自身の臨床経験を振り返るきっかけとなりました」

臨床経験で疑問を抱いたことをきっかけに大学院へ進学することを決めました。大学院では自身が抱いた疑問を明らかにするプロセスを学ぶことができ、これまでの自身の看護を理論的に振り返ることが出来ました。大学院での学びは自分にとって大きな経験となり今後はこの学びを臨床現場で活かしていきたいと思います。

ある1日のスケジュール *1年前期の場合

8:30～17:15
附属病院での勤務

18:00～19:30
看護理論

17:40～17:50
大学院生室にて休憩

19:40～21:10
看護 研究方法論

私の時間割 *1年前期の場合

	1	2	3	4	5	6	7
MON	小児看護学 特論	小児看護学 演習					
TUE						看護理論	看護研究方法論
WED							
THU							
FRI							



From Students



助産学実践コース
女性健康・助産学専攻
2年
坂本 晴音さん

「恵まれた学びの環境で助産師としての知識や技術、自身の助産観を磨くことができる場所」

助産学実践コースでは、教員の先生や助産師の方の手厚い指導のもと、より実践的な知識や技術を学びます。また、地域の助産師さんからの刺激も受け、助産観を磨くことができます。大変なこともありますが、仲間と助け合い高め合いながら、日々過ごしています。

私の時間割 *1年前期の場合

	1	2	3	4	5	6	7
MON	助産診断・技術学演習Ⅳ	助産学特論Ⅳ	助産学特論Ⅰ	助産診断・技術学演習Ⅱ	助産診断・技術学演習Ⅱ		
TUE	助産診断・技術学演習Ⅰ	助産診断・技術学演習Ⅱ	助産診断・技術学演習Ⅱ			看護理論	看護研究方法論
WED	助産学特論Ⅳ	周産期看護学演習	女性健康学演習		アドバンストフィジカルアセスメント		
THU	周産期看護学特論	女性健康学特論	助産診断・技術学演習Ⅲ				
FRI	助産診断・技術学演習Ⅳ	助産診断・技術学演習Ⅳ	助産診断・技術学演習Ⅲ	助産学特論Ⅲ			

ある1日のスケジュール *1年前期の場合

9:00 ~ 10:30
助産学特論Ⅳ

10:40 ~ 12:10
周産期看護学演習

12:10 ~ 13:00
お昼休憩

13:00 ~ 14:30
女性健康学演習

16:20 ~ 17:50
アドバンストフィジカルアセスメント

修業年限及び学位・取得できる資格等

Course term, Degree, Qualification

1. 修業年限及び学位

修業年限：2年 学位：修士（看護学）

2. 取得できる資格等

助産学実践コース：助産師国家試験受験資格、受胎調節実地指導員、新生児蘇生法「専門」Aコース修了認定証

高度実践コースの高度実践看護師教育課程：日本看護協会 高度実践看護師教育課程（専門看護師）認定審査受験資格*

*専門看護師認定審査を受けるためには、所定の単位取得の他に実務研修が通算5年以上あり、うち3年間以上は専門看護分野の実務研修であることが必要です。

高度実践コースの周麻酔期看護師教育課程：修了時は本学大学院看護学研究科周麻酔期看護師として認定されます（本学認定）。

入試案内

Entrance examination Information

1. 専攻課程及び募集人員

専攻	コース	専門	募集人員
看護学	看護学コース 論文コース	【領域】 健康科学 基礎看護学 看護実践応用学 がん看護学 高齢者看護学	小児看護学 精神看護学 公衆衛生看護学 在宅看護学 女性健康・助産学
		高度実践看護師教育課程 (クリティカルケア看護分野、がん看護分野)	
	高度実践コース	周麻酔期看護師教育課程	
助産学実践コース	【領域】 女性健康・助産学		5

2. 試験日

一次募集 令和5年8月21日（月）

二次募集 令和5年12月1日（金）

*一次募集の結果により、二次募集を実施しない場合があります。

3. 入学者選抜方法

学力検査（専門科目、英語）、面接試験の結果及び出願書類等を総合的に判定して行います。

*入学試験の日程等詳細については、募集要項で必ず確認してください。

入学検定料・入学料・授業料

Price Information

1. 入学検定料 30,000円

2. 入学料 282,000円

3. 授業料 535,800円（年額）

2期（4月、10月）に分けて徴収します。

*在学中に授業料の改定が行われた場合には、当該改定時から新授業料が適用されます。

修学支援制度

Study support system

1. 長期履修制度

職業を有している等の事情により標準修業年限（2年）で修了することが困難な学生を対象とし、長期にわたる計画的な教育課程の履修を認める制度です。

[長期履修期間] 3年

[対象者] 看護学コースの入学資格を有する者のうち、職業を有する者。
※助産学実践コースについては、長期履修制度は適用されません。

[授業料] 標準修業年限（2年）を超える履修期間は授業料を徴収しません。

[その他] 事前に指導教員との相談や申請書の提出が必要になります。

2. 入学料免除制度

本学学部からの進学者、看護系大学を卒業又は卒業見込みで奈良県内に住所を有し経済的要件を満たす者、奈良県内看護系大学を卒業又は卒業見込みの者で経済的要件を満たす者については入学料が免除される制度があります。

3. 授業料減免制度

学業が優秀で、かつ、経済的理由により授業料の納付が困難な学生の修学を支援する制度として、授業料の全額又は半額が免除される制度があります。

4. 奨学金

学業成績が優秀で経済的理由により学資支援が必要な者には、選考により貸与される日本学生支援機構奨学金があります。

第一種奨学金（無利息）	第二種奨学金（利息つき）
50,000円又は88,000円	貸与月額は、5、8、10、13、15万円の中から選択できます。 在学中は無利息、卒業後年利3%を上限とする利息がかかります。

5. 在宅看護人材育成支援修学資金制度

将来県内において在宅看護を牽引するリーダーとなる意思を持つ学生に対し、1年間または2年間、月10万円の修学資金を貸与する制度があります。在宅看護に関する特別教育プログラムを受講し、附属病院及び在宅看護実践現場で一定期間就業した場合は、返還免除となります。



*本学大学院看護学研究科は令和5年6月現在、博士後期課程設置認可申請中のため、認可された場合は、「修士課程」は「博士前期課程」に名称変更となります。



奈良県立医科大学

Nara Medical University

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学 教育支援課 看護学研究科入試担当

【TEL】0744-22-3051（内線 2390）

【時間】9：00～17：00（平日）

令和5年6月発行
教員名、学生の学年などは、
令和5年度当時のものです。